

地域の子どもは地域で育てる ～地域人々とさまざまな体験を～

甲賀市	活動名：きぶかわ学習教室	貴生川小学校 学校運営協議会：■有 □ 無
主な活動場所：貴生川コミュニティセンター 年間開催日数：6日 平均参加人数：25人 ・活動内容：■学習支援 ■体験活動 ■芸術・文化 □スポーツ □その他() ・教室の持ち方：□平日放課後実施 □土曜日実施 ■長期休業日実施 □その他() ・スタッフの属性：□企業関係者 □行政職員 ■元教職員 ■地域住民 □大学生 □NPO 等関係者 ■その他		

■ 活動の概要

平成 30 年度から毎週水曜日の放課後に「タヤけ教室」と名付け、放課後学習に取り組んできたが、児童クラブに通う児童が増えてきていることから、希望する児童が減少してきた。そこで、本年度より長期休業中にコミュニティセンターに3～6年生の希望者を集め、宿題や自主学習に取り組むとともに、普段できない体験活動に挑戦した。体験活動はスタッフ会議で、各スタッフが1講座ずつ企画した。

■ 特徴的な活動内容や実施にあたっての工夫

夏休み：家電の解体、アクセサリーづくり、絵画・工作、楽器体験
 冬休み：書初め練習、しめ縄づくり、百人一首大会
 ・参加希望者は紙による申し込みからQRコードによる申込みに変えたため、申し込み者も増え、以後の連絡も取りやすくなった。

■ 学校や放課後児童クラブとの関わり・連携

主催はまちづくり協議会と地域学校協働本部であるので、教職員の参加は求めているが、学校運営委員会にかかわる教職員や委員の参加も得ている。平日に開催しているので、児童クラブに通う児童はほとんど参加していないが、体験講座の内容については、児童クラブや認定こども園と情報共有している。

■ 他事業との関わり

・夏休みにはPTAが主催で各地区の公民館や集会所を使って「ひまわり教室」という学習教室を開催していただいている。
 ・開催できていない地域もあり、できるだけ機会を増やすために、「ひまわり教室」と時期をずらして開催している。

■ 事業の成果と課題

・本年度、中学校に学校運営協議会が立ち上がったことにより、中学生にスタッフ募集をしたところ数名の参加が得られた。
 ・冬休みの書初め教室には、県立中学の書道部の生徒が指導に当たり、その後の百人一首大会はともに楽しむことができた。
 ・地元の子ども食堂さんから昼食やおやつを提供を受けられた。



【 家電解体に取り組む 】

報告書記入者(地域学校協働活動推進員)

地域の方々とふれあい～地域のことを知ろう・学ぼう～郷土を愛するみなくちっ子

甲賀市	活動名：放課後教室・冬休み教室	水口小学校 学校運営協議会：■有 □ 無
主な活動場所：水口小学校 CS ルーム、水口中部コミュニティセンター和室 年間開催日数：11日(開催ベース：秋・冬 各2時間×5日・冬休み2時間) 平均参加人数：15人 ・活動内容：■学習支援 ■体験活動 ■芸術・文化 ■スポーツ □その他() ・教室の持ち方：■平日放課後実施 □土曜日実施 ■長期休業日実施 □その他() ・スタッフの属性：□企業関係者 □行政職員 □元教職員 ■地域住民 ■大学生 □NPO 等関係者 □その他		

■ 活動の概要

秋に4年生・5年生、冬に6年生を対象とした、16:00～18:00の2時間の中で、学校行事等と重ならないランダム5日間を設定する。前半1時間は、宿題やプリント学習、タブレット学習などを行い、後半1時間は、地域の方に来ていただいて体験学習を行う。冬休み教室は、水口中部コミュニティセンターをお借りして、水口まちづくり協議会と岩上まちづくり協議会の協力を得て開催した。

■ 特徴的な活動内容や実施にあたっての工夫

各回後半の体験学習には、クッキング、季節の工作、お囃子体験、ポッチャ体験や電気回路の実験など、地域の方に来ていただき、一緒に学び挑戦し、楽しく過ごすことで、ふるさと水口を愛するみなくちっ子を育てる。スタッフも地元の大学生や地域の方をお願いした。冬休み教室は、地元の書写の講師による書初め教室を開催した。

■ 学校や放課後児童クラブとの関わり・連携

学校には、CS ルーム、家庭科室、体育館の提供をお願いしている。保護者との連絡は公式LINEにて行い、基本先生方への負担がないようにスタッフのみで行うこととしているが、常に情報共有し、緊急の場合の連絡に備える。放課後児童クラブを欠席して放課後教室に参加する児童もいることから、放課後児童クラブとの情報共有も必要とする。

■ 事業の成果と課題

開始当初に比べ年々人気が出て、楽しみに待っていてくれる児童が増えている。しかし、基本保護者のお迎えをお願いしているため、実際の申込み児童が限られてしまうという課題がついて回る。そんな中、保護者間での協力により、お迎えの方法を工夫することで児童が参加できるため、今後もお迎えの方法を検討したい。



【 お囃子体験 】

報告書記入者(地域学校協働活動推進員)

ばんたにっこ夏休み教室

甲賀市	活動名:ばんたにっこ子教室	伴谷小・伴谷東小学校 学校運営協議会：■有 □ 無
主な活動場所:伴谷コミュニティセンター		開始年度:令和4年度(伴谷小学校より)
年間開催日数:8日		地域学校協働活動推進員数:1人(兼務1人)
平均参加人数:40人(伴谷小30人、伴谷東小10人)		平均スタッフ数:15人
・活動内容:■学習支援 ■体験活動 ■芸術・文化 ■スポーツ □その他()		
・教室の持ち方:□平日放課後実施 □土曜日実施 ■長期休業日実施 □その他()		
・スタッフの属性:□企業関係者 □行政職員 ■元教職員 ■地域住民 □大学生 □NPO等関係者 □その他		

■ 活動の概要

- ・夏休みの宿題を中心とした学習 工作、ボッチャ等のスポーツ、紙芝居等
- ・冬休みの宿題を中心とした学習 工作、紙芝居、百人一首・カルタ等

■ 特徴的な活動内容や実施にあたっての工夫

- ・自治振興会が中心となって運営(自治振興会は伴谷小学区、伴谷東小学区が統一組織)。
- ・運営委員会を組織し、活動計画を作成(運営委員には伴谷小・伴谷東小の両教頭も含まれる)。

■ 学校や放課後児童クラブとの関わり・連携

- ・参加申込書の配布や回収は学校で行う。
- ・運営は自治振興会が中心となるで行う。

■ 他事業との関わり

- ・伴谷小学校・伴谷東小学校の各地域においても関係地域交流学習会として別に実施。

■ 事業の成果と課題

- ・自治振興会が中心となって運営をさせていただいている。
- ・会場が学校ではないため、不登校傾向に児童も参加しやすい。反面、保護者送迎のため、送迎可能な家庭に限られてしまう。
- ・運営委員会に各校の教頭が参加するため、連携がとりやすく、参加者の募集や集計がしやすい。ただ、開催当日に教頭(校長含む)が、様子を見に行くことが望ましく、休日出勤となる場合がある。

報告書記入者(校長)



【 読み聞かせ 】

未来へつなぐ 土小の教育活動 ～地域とともに～

甲賀市	活動名：土っこ放課後教室	土山小学校 学校運営協議会：■有 □ 無
主な活動場所:土山小学校		開始年度:令和3年度
年間開催日数:30日(開催ペース:月3日)		地域学校協働活動推進員数:2人
平均参加人数:40人		平均スタッフ数:3人
・活動内容:■学習支援 ■体験活動 ■芸術・文化 □スポーツ □その他()		
・教室の持ち方:■平日放課後実施 □土曜日実施 ■長期休業日実施 □その他()		
・スタッフの属性:□企業関係者 ■行政職員 ■元教職員 ■地域住民 □大学生 □NPO等関係者 □その他		

■ 活動の概要

- ・火曜の放課後に3年生以上を対象とし、宿題、自主学習、体験的な活動を行った。

■ 特徴的な活動内容や実施にあたっての工夫

- ・体験的な活動として、課業期間では英会話・プログラミング・俳句・筆を、夏季休業では、切り絵・水墨画を実施。3学期には漢字検定を行った。

■ 学校や放課後児童クラブとの関わり・連携

- ・学校が目指している基礎学力の向上を図るため、宿題や自主学習の取組に加え、漢字検定に向けた漢字練習、計算力向上のためのスピード計算にも取り組んだ。

■ 他事業との関わり

- ・土山小学校同窓会と協働している箏教室では、音楽会や土山宿場まつりで発表の機会を得た。

■ 事業の成果と課題

- ・学習の充実はもとより、体験活動を経ることにより英語活動、情報教育、国語科、音楽科への興味関心の高まりがみられた。
- ・参加条件として保護者に児童の迎えをお願いしていることから、児童が希望しても家庭の都合により参加できない児童がいる。



【 箏 “なでしこ楽坊” 】

報告書記入者(地域学校協働活動推進員)